



ほ 多 当

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆
～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～
【今月の一冊】 論語と算盤
渋沢栄一 著 ちくま新書
ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2018年12月1日 Vol. 194
発行元 有限会社プライム・コーポレーション
ライフコンサルタント 渡邊敏徳
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地
TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

繁栄した国

イギリスのシンクタンク、レガタム研究所 (Legatum Institute) は28日、今年で12回目となる2018年のレガタム繁栄指数を公表しました。

レガタム繁栄指数は、「経済的質」、「ビジネス環境」、「統治」、「個人の自由」、「社会資本」、「治安と安全」、「教育」、「健康」、「自然環境」の9つのサブカテゴリと100以上のさまざまな指標に基づき、世界で最も「繁栄している」国をランク付けするものです。

今年は世界149カ国を対象としていて、ノルウェーは過去9年のうち8回トップに輝いています。唯一1位を逃したのは2016年、ニュージーランドにその座を奪われました。2018年世界で最も裕福で健康で繁栄した国 トップ10の国をご紹介します。

10位 アイルランド ～ 治安と安全、個人の自由 9位 オランダ ～ 教育、統治
8位 カナダ ～ 個人の自由 7位 イギリス ～ 自然環境
6位 スウェーデン ～ 経済的質 5位 デンマーク ～ 社会資本
4位 スイス ～ 教育 3位 フィンランド ～ 統治、教育
2位 ニュージーランド ～ 社会資本 1位 ノルウェー ～ 治安と安全

先進国のアメリカは17位、ドイツは14位、そして日本は23位となっています。生活と社会環境の一番は、経済力高いアメリカや日本ではないのはちょっと驚きです。生活では、教育・健康・環境、そして、生活していく経済や政治体制がとても重要となります。社会環境としては、政治体制と働く環境と仕事を含む社会資本充実と個人の自由と治安・安全が求められています。

日本の繁栄度指数ランキングは「総合」で23位(昨年は22位)。「安全」や「健康」では高順位にありますが、「社会関係資本」で101位と大きく後れをとっています。昨年に比べ最も大きく順位を上げたのは「自然環境」で、5ランク上がっての43位でした。



日本が上位にランクインしたことはとても光栄なことですが、その「上位」と「下位」の国々とのギャップが広がり続けているといった事実は、知っておかなければならない事実です。

国の豊かさを計る基準を何にするかを考えてみると、国内総生産 (GDP) という基準でしか考えてこなかった私たちの見方も、少し考え直す機会にした方がいいのではないかと感じます。

安全運転

65歳以上の高齢ドライバーの事故がとて注目されるようになってきました。平成28年中に起こした死傷事故の内容を見ると、車対車の衝突事故が8割強を占め、その中でも「出会い頭」が最も多く「追突」「左右折時」のケースが続きます。死亡事故発生率をみると、車が単独で起こした事故が多く発生しており、中でも「路外逸脱」「工作物衝突」による死亡事故が目立ちます。

65歳以上の高齢ドライバーの中には「自分はまだまだ大丈夫」と運転に自信がある方や「車が無いと買い物にも行けない」など車が生活の足になっている方も多くいらっしゃいます。こうした問題に行政が取り組んでいるとは思いますが、これからの社会の在り方を考えていかなくてはなりません。「車に複数のキズがある」「車線をはみ出して走行することがある」「停止線でうまく止められない」「道に迷うことがある」「車庫入れがうまくできない」「走行スピードが極端に遅い」などがある方は考えてみる必要があるかもしれませんね。

本年も“ほたる”をお読み頂きありがとうございました。来年も良い年でありますよう心からお祈り申し上げます。



【座右の銘にしたい名言】



もし今日が人生最後の日だとしたら、今やろうとしている
ことは本当に自分のやりたいことだろうか？

(スティーブ・ジョブズ/アメリカの実業家、アップル社の設立者)

◇ 年末年始の営業 平成30年12月29日～平成31年1月6日までお休みとなります。